

ふれあい公社の 家事援助・介護サービス 協力会員募集中!

家事援助・介護サービスとは……

高齢や障害のため、日常生活にお困りの方(利用会員)のお宅に、公社の趣旨に賛同した方々(協力会員)が伺い、有償で家事や介護を援助するサービスです。

協力会員 自分のできることを、できる範囲で活動していただきます。

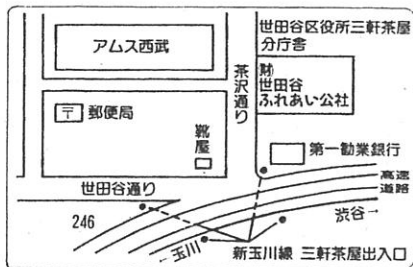
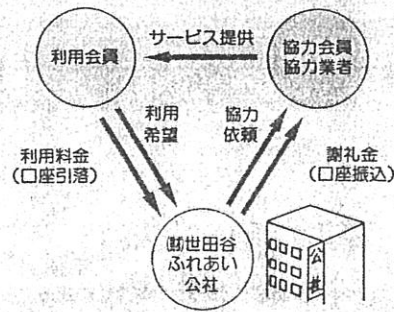
◇活動内容……掃除、洗濯、食事作り、買い物、話相手、草取り、身辺介助、外出介助、排泄介助、おむつ交換、など

◇謝礼金……1時間700円～900円 及び交通費実費

◇時間貯蓄制度……

活動した時間を現金で受け取るかわりに積み立てておき、将来活動した本人や家族が引き出して利用できる制度です。

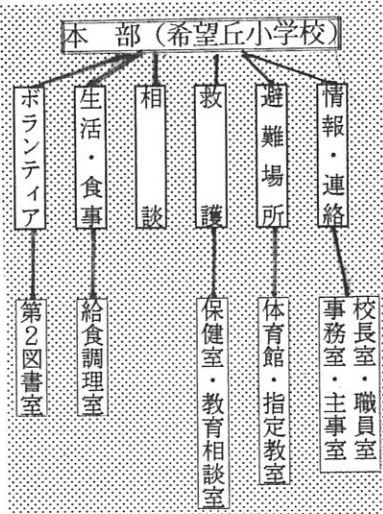
世田谷ふれあい公社有償サービスのしくみ



財団法人世田谷ふれあい公社 ☎3419-2311
〒154 世田谷区太子堂2-16-7 (区役所三軒茶屋分行4F)

ちとせ

発行：編集委員会
編集者：板橋 昇
責任者：船橋出張所内
事務局：船橋出張所内
☎(3482)0343
1997年1月 NO.52



※備蓄倉庫には、3日分の児童数分の水と食料および組立式トイレ、毛布等を確保してあります。

「地震・雷・火事・おやじ」の言葉にあるように、自然界が起す災害の恐ろしさは、今昔を問わず変わらぬものがあります。

・自らの命は、自らで守る。

・災害は、忘れた頃にやってくる。日頃の備えを十分に!!

・向こう三軒両隣り。近隣同士は助け合って生きていく。

と平日頃言われていることは、災害に対する心構えであり、今時代が変化しようとも大切なことであると考えています。

組織 前々号、前号でお知らせされた災害時の学校対応と同様に、公立小中学校の施設は、暫定的に避難する場所と定められています(一時避難場所)。船橋地域の避難場所の一部である希望丘小学校では、災害対応時の組織は左図のようになっていきます。

避難場所は、体育館をはじめ、あらかじめ決めてある教室となります。被害の状況に応じて予備の教室も考慮してありますが誘導者の指示にしたがってください。

わがまちの 避難場所

◆避難所シリーズ その3◆

希望丘小学校
校長 松岡 治子

学校教育活動再開にむけて

避難場所としての円滑な運営とともに、学校としての機能(学校教育活動)の再開に向けて、児童関係・授業再開、教職員関係・拡大災害対策本部との関係等の対応組織を作っています。

避難所と教育活動の場として共存が考えられます。そのときはご理解とご協力をお願いいたします。

地域・近隣小中学校との連携について

前号お知らせのあった船橋中学校と同様ですが、近隣小中学校公共施設等、避難所となるであろう施設と連絡を密にし、組織・係・分担等の共通理解と確認をし、統一できるものはそろえていくことが、地域の方々が安心して避難できる一つの体制作りとなるのではないのでしょうか。今後の課題と考えています。

取材 助川・関本

◆船橋出張所地区防災訓練

10月6日(日) 9時30分～12時

船橋中学校校庭において地区内の町会・自治会・日赤奉仕団・各校PTA・中学生・朝日新聞生産技術実験所・まちづくり広報班そして船橋児童館など579名の参加。

訓練内容のうち、煙中避難・地震体験・ロープ結索・消火器体験・応急救護・搬送は、いずれも全員参加。

そのほかに、炊き出し・バケツ投水・救助・可搬ポンプの放水・物資配分等の各訓練と、文化放送によるライフカードの発行。

この訓練は、成城警察署・成城消防署・消防団と、世田谷区の協力により行われた。

◆第7回船橋ふれあいまつり

11月3日(祝) 10時～14時、希望丘公園にて開催され、約2万人が来場。バザー、ウルトラマンとの撮影会、お化け屋敷、模擬店などで秋の日の一日を楽しんだ。



ふらっと船橋



地域めぐり

出 会 い の 日

11月25日は「ふらっと船橋」での新たな仲間たちの出会いの日、そして利用者全員とご家族の皆さん、「ふらっと」のスタッフが手をとり合って、広い海原へ船出する日です。

地域に愛され開かれた施設として、地域の人々と交流を深め「ふらっと」の仲間たちが豊かな楽しい生活が送れるよう願ってやみません。

この船出のお祝いにボランティア協会の牟田理事長・区の野澤障害施設課長が駆けつけられ、利用者の方に温かい励ましのお言葉をかけられました。利用者一人ひとりが感激し、涙を流し喜んでる姿にスタッフ一同やらないければという強い心がまえを持ちました。

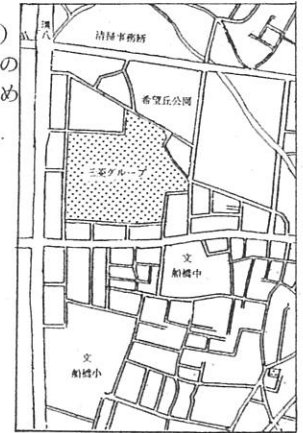
この日は準備されたメニューに基づいて、カレーパーティ・懇談会と進められました。懇談会ではスタッフが気づかなかった点など種々要望が出されました。スタッフも利用者の意見に耳を傾け、「ふらっと」に来てよかった」と喜ばれる施設にしていきたい。そして、仲間たちに夢を与え、新たな生活を展望できる「ふらっと船橋」での仲間たちのふれあい物語を作っていきたい。

施設 長 長谷川 浩也
社会福祉法人 世田谷ボランティア協会
(取材) 荻原・幡生

三菱グループのまちづくり!!

三菱グループの養和会が管理していた三菱養和会総合グラウンドが、三菱各社の研究所や高層住宅に変身した。この土地は、昭和18年に軍の指令で三菱養和会に緑地として指定され、まもなく野球場4面などの総合グラウンドができた。

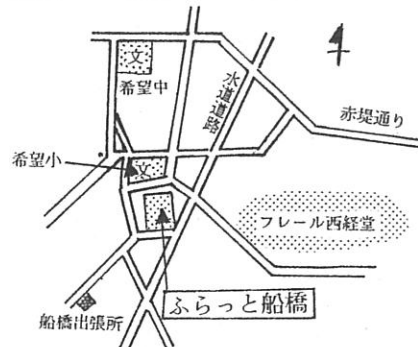
昭和40年から始まった希望丘土地整理組合の、環八を基幹とした大規模な事業によって現在の区画が完成した。(平成2年に事業は完成、組合は解散)平成7年には新しい下図の事業が近隣の住民に発表され、三菱各社の事業が進められている。(編集委員会)



↑ 区画整理された道路 (三菱グループ周辺の道)



- ・世田谷区立身体障害者デイサービスセンター……船橋4-3-1
☎3789-4101
- ・運営は社会福祉法人です。
- ・利用者…1日当たりおおむね15名。
- ・送迎バスを運行しています。



編集後記

昨年暮れから新年に向け、土石流惨事、リマ人質事件、タンカー沈没による流出重油漂着と、テレビは暗いニュースの連続です。編集委員一同は、よりよい街をと頑張りますのでよろしくお願致します。

三井 ぬい子